

篠山東雲

3年前、新型コロナウイルスの影響で最初の2カ月が休校になる中、私たちの高校生活が始まりました。オリエンテー

ション合宿や体育祭などの行事、田植えなどの実習が中止となり、仲間との大切な時間は失われていきました。分散登校で

授業が遅れていることもありますが、2年生になっても馬が好きなタンスメイト時には怒り、仲間と過ごす時間も3年間一緒に過ごした。

ファームステイでは、た。ここでは言えません。日常のありがたさを再認識(番)のときにした、先生 在校生の皆さん。時間漁業や馬の飼育を体験し、ホテルでの出来事も 識できました。いろいろな何げない会話や人生はあっという間に過ぎてきました。馬の競り場にも 心に残っています。 ときには励まし合い、数々 相談。それを樂しみに学びたいです。さまざまに 連れて行っていただき、 共に笑い、共に学び、 の困難を乗り越えてきた 校に來ている日もありま 体験を通して、農業について、それ以外のことも、それ以外のことも、

仲間の大切さ再認識



行事は縮小され、寂し も喜び。川が冷たかった3年間は本当に楽し させて良かったですが、その中で たラフティング体験では かったです。新型コロナ った。本当にありがとうございました。 北海道に修学旅行へ行け 思い切り水を掛け合い、ウイリスの影響で失われ 学校生活では、いつも た。今まで甘えてきた ことで皆さんの活躍を見ることができ、感謝しています。 一緒に盛り上がりまし らこそ、仲間の大切さや ました。農当(農場当 頑張ります。

丹波地域高校

卒業生答辞

【下】

(敬称略)

2023年3月9日

丹波新聞